

今後のプロジェクトチームの進め方について(案)

平成22年10月27日

安全確認 P T

1 安全監視情報のプロジェクトチームへの提供

3号機の定期検査終了後は、原則として毎週1回（火曜日）、直前の月曜日から日曜日までの7日分の測定結果をまとめて提供する。

ただし、出力変動や制御棒操作等がある場合には、その一連の操作終了後の翌日に、当該操作期間の測定結果をまとめて提供する。

なお、提供を受けた安全監視情報については、県のホームページに掲載する。

2 プロジェクトチームによる確認

3号機の定期検査終了後は、従前どおり安全監視情報の情報提供を受けた都度確認し、県のホームページにその確認結果を掲載する。

また、四半期毎に開催する定例の福島県原子力発電所安全確保技術連絡会において、当該期間の確認結果をまとめて報告する。

なお、3号機において安全確認が必要なトラブル等が発生した場合には、上記により安全監視情報の提供を受け確認するとともに、必要に応じて現地確認を実施し、又は会議を開催する。

3 その他

3号機の今期の営業運転期間終了後、当該期間中の運転状況を総合的に確認するとともに、次期定期検査期間及び営業運転期間における安全確認の進め方を協議する。

(参考)

プロジェクトチームのこれまでの活動状況等

- 2010(H22). 8.17 福島第一原子力発電所3号機におけるプルサーマル実施に係る安全確認のためのプロジェクトチームを設置
- 8.20 プロジェクトチーム会議で、MOX燃料装荷及び装荷後の運転スケジュール等を確認、運転開始後に報告を受けるべき監視項目等を検討。
- 8.21 プロジェクトチームによる現地確認
◎MOX燃料の装荷状況
- 8.30 県が県議会エネルギー政策議員協議会で、プルサーマル実施受け入れに係る経緯等を報告
9. 3 プロジェクトチームによる現地確認【第2回】
◎制御棒駆動水圧系機能検査の状況他
9. 9 県議会代表者会議、各派交渉会において、「プルサーマル実施受入れに関する県の最終判断を尊重する」との意見をまとめる。
- 9.10 第2回プロジェクトチーム会議で、1F-3における定期事業者検査の実施状況、運転開始後に報告を受けるべき監視項目等を確認。
※ 監視項目：停止余裕、最小限界出力比、燃料棒最大線出力密度、燃料集合体最高燃焼度
- 9.17 プロジェクトチームによる1F-3の定期事業者検査の確認結果等について、東京電力に通知
- 9.17 プロジェクトチームによる現地確認【第3回】
↳ ◎1F-3の原子炉起動（制御棒引抜き～臨界）状況、非常用炉心冷却系機能検査状況確認
起動準備の最終確認中に非常用炉心冷却系の表示ランプに不具合が発生し、起動準備中断（22:41）
- 9.18 起動延期を決定（1:30）
非常用炉心冷却系の表示ランプの作動を確認後、原子炉起動操作開始（制御棒引き抜き開始）（10:20）
臨界到達（13:20）
- 9.23 1F-3発電開始（調整運転）
- 9.24 県議会がプルサーマル運転の状況について現地確認
県議会議長が、県原子力発電所所在町協議会会長（富岡町長）に、県のプルサーマル実施受け入れに関する最終判断への議会としての対応結果を報告
10. 7 プロジェクトチームによる現地確認【第4回】
◎運転開始後の安全監視情報のデータ確認、高圧注水系機能検査・原子炉水サンプリング及び排ガス放射線モニタ等の状況についての現場確認
- 10.27 第3回プロジェクトチーム会議で、3号機の定期事業者検査結果や3号機の安全監視情報等について確認。